

大阪市立

市岡中学校

所在地 〒552-0003 港区磯路1丁目5番21号

TEL 06-6572-7231

FAX 06-6572-2768

校長名 西川 孝治 (にしかわ こうじ)



学校の紹介・校長メッセージ

本校は昭和22年4月の学制改革に伴い、大阪市立港第一中学校として開校した港区で一番歴史と伝統のある中学校です。現在までに卒業生総数は、27,321名にのぼります。校訓「明るく」「強く」「正しく」の精神のもと、「新しい価値の創造」「自己コントロール」「他者とのつながり」を3つの軸として、生徒および全教職員が一丸となり、授業に各種の学校行事へと熱心に取り組んでいます。

また、本校には「日本語指導が必要な子どもの教育センター校」として、大阪市内の中学校から日本語の勉強のためにたくさんの生徒が日本語教室(略称)に通級してきています。

校内外共に、落ち着いた雰囲気の中で生徒は学習活動に取り組んでおり、学校内に居場所を設け、不登校生徒等の多様な学びについても推進しています。

校訓

「明るく」「強く」「正しく」

学校教育目標

『自律した個人として自己を確立させ、他者と協力し、これからの社会を担うことをめざさせ、心豊かに力強く生き抜く力を育む』

目指す子ども像

『夢と希望を持ち、自ら未来を切り拓き、地域を愛し、地域に頼られる生徒』

つきたい力

『学力、体力の充実を基本とし、自ら課題を見つけ考え判断し行動する力。自己を表現する力。他者と協力する力。』

運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

- 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する生徒の割合を85%以上にする。
- 年度末の校内調査における、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査における、「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上とする。
- 多様な学びを保障するための場所を1教室以上、担当する人材を2名以上確保し、市岡中スタンダードver4.0への移行を図り、不登校生の減少につとめる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する生徒の割合を50%以上にする。
- 中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれ

の学年も前年度より0.1ポイント向上させる。

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より0.05ポイント向上させる。
- 中学校チャレンジテストにおける社会・理科・英語の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
- 授業評価アンケートにおける「授業はあてて振り返りがわかりやすく提示されていますか」に対して、学校平均を3.55ポイント以上とする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]
- 地域の人と協働し、学校内居場所事業「はとばカルッチャ」を週に1回程度開催し、生徒の自己有用感を高める。

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

平均正答率(%)	
国語	数学
51	42

令和6年度の全国学力・学習状況調査の結果は、国語の正答率が市平均より5ポイント低いという結果となった。「我が国の言語文化に関する事項」の正答率は府平均から2.1ポイントしか下回っており、学力向上推進事業、習熟度別少人数授業の取り組み等が結果につながりつつある。しかし、問題形式の短答式においては、府平均と比較すると9.1ポイント下回っており、課題が残っているため、引き続きリーディングスキルテストによる読解力向上にむけて取り組んでいく。

数学の正答率も、市平均より9ポイント低い結果となった。「関数」においては府平均より4.3ポイント下回っているため、重点的に取り組んでいく必要性を感じる。

どの教科においても授業形態を改革し、『教え』から『学び』をキーワードとし、一斉授業に話し合う活動を取り入れ、単純な知識の詰め込みではなく、自ら考え、それを学びあう機会を増やしている過程にある。

さらに、すべての教室の前面にある黒板(本校はホワイトボード)周辺の掲示物を外し、生徒が黒板に集中できるようにし、学習の「めあて」と「ふりかえり」を意識した授業を、学校全体で進め、こうした授業のありかたを「市岡中スタンダード」としている。また、教室に入りづらい生徒への学習支援のために学びサポーターや区の学校支援サポーターを配置するなど、様々な課題を持つ生徒に対し、個別最適なアプローチをしていることも本校の大きな特徴である。

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点
男子	29.15	27.03	44.72	51.78	89.12	7.93	198.82	21.66	43.67
女子	22.54	22.86	41.27	47.97	58.47	8.86	178.88	14.30	49.69

体力合計点は男女ともに、全国および大阪市の平均を上回ることができた。また、生徒質問紙の「運動をすることは好きですか」の設問に、最も肯定的な「好き」と回答した生徒が、男子は59.7%、女子は44.2%であり、大阪市の数値と比較し、男子は4ポイント下回った一方、女子は2ポイント上回った結果となった。課題としては、1週間の総運動時間が60分未満の生徒の割合が、男子は13.3%、女子は21.9%であり、男女ともに大阪市の数値より低い結果となっている。

本校では、毎時間のラジオ体操、補強運動等の準備運動の取組について、自他ともに点検することから始まり、技能を高めるために相互

点検させることで、適切な判断力および他者に伝えるための表現力を養うために取り組んでいる。

さらに、昼休みにクラスに割り当てられた2球のドッジボールで遊ぶことを可能としていたが、令和6年度2学期後半から、長縄も使用できるようにしたところ、女子がグラウンドに出て遊ぶ姿も多くみられるようになった。今後も、ボールの種類も工夫しながら、運動時間が全国レベルになるよう取り組んでいく。



卒業後の主な進路【過去3年間】

卒業生 R4年度198名、R5年度193名、R6年度194名 進路先の人数は過去3年間の累計で表示

公立高校等

旭(8)、芦間(4)、阿倍野(9)、生野(4)、泉尾工(13)、市岡(27)、今宮(4)、今宮工(3)、桜和(7)、大阪公立大高専、大手前(7)、OBF(9)、春日丘(2)、河南、教育センター附属(2)、京都学院、柴島(6)、工芸(2)、高津(5)、港南造形(6)、堺市立堺、佐賀工業、咲くやこの花(14)、桜宮(4)、清水谷(4)、吹田(3)、住吉(6)、住吉南、成城(6)、泉北、泉陽、大正白綾(4)、中央(5)、豊島、天王寺(3)、長吉、なにわ高等支援、奈良県立御所実業、難波支援(4)、西成(9)、西野田工、日新、農芸、花園(5)、河内(4)、阪南(3)、東(6)、東住吉(2)、東渡川(8)、福井、布施、三重県立朝明、三国丘、港(18)、都島工(5)、桃谷(通)(2)、守口東、八尾(2)、夕陽丘(3)、淀川工科、淀南(15)

私立高校等

藍野、アナン学園、あべの翔学(10)、上宮(15)、上宮太子、追手門学院(2)、追手門学院大手前(7)、大坂(15)、大坂信里(4)、大坂学院大(14)、大坂学芸(3)、大坂暁光、大坂女学院、大坂信里(2)、大坂成蹊女子(3)、大坂電通大(5)、大坂桐蔭(2)、大手前高松、尾道、関西福祉科学大、関西学院、関西学院千里国際、関大高等部(2)、関大第一(5)、関大北陽(3)、近大泉州、近大附(6)、金蘭会(5)、熊本星翔、倉吉北、啓明学院、賢明学院、興國(10)、好文学院(3)、香里メグアール、金光大坂(7)、金光藤蔭(11)、四多暇学園、常翔学園(13)、常翔啓光(3)、城星、城南学院(2)、昇陽(15)、精華、星翔(2)、済美、清風、宜真(2)、相愛(2)、大産大附(15)、大南学園(2)、大南大(11)、大南大塚、大田大浪南、東海大仰星、東邦、浪速(12)、西大和学園、日南、羽衣(3)、初芝立命館、阪南大(2)、東福岡、兵庫大附属須磨ノ浦、プール(3)、明浄(3)、明星、桃山学院(3)、山梨学院、夕陽丘学園(10)、立正大池南、立命館

専修学校等

飛鳥未来、あすなろ高等専修、ECC、WILL学院、英風(通)(2)、英風女子(3)、S・H・N高(2)、大阪スクールのミュージック、大阪つくば開成(2)、科学技術学園、関西インターナショナル、クラーク記念国際、第一学院、東朋(3)、長尾谷、ヒューマンキャンパスのぞみ、ルネサンス大阪(11)、YMCA学院(2)、家事手伝い等(3)

学校名等の後ろの()内は2名以上の進学者等の人数を表示しています。